

平成29年度 行政評価 施策カルテ

施策名	3 緑の保全・育成
-----	-----------

施策主管課	緑のまちづくり課	総合計画記載頁	127ページ
-------	----------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	14 良好な水と緑の環境を創出する	政策の達成目標 (基本施策目標)	市民が身近に自然と親しめる良好な水と緑の環境が創出され、自然との共生が深まっています。
------	--------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

施策目標	市民・事業者の主体的な活動により、都市の緑化や樹林地の保全が図られています。
------	--

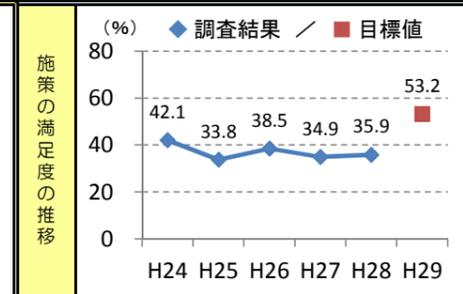
① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価
	指標1	緑化ボランティア登録者数	単年度目標値	190	205	220	235	250	
現状値		実績値	174	209	226	247	265		
目標値(H29)		単年度の達成度	265	100.5%	102.0%	102.7%	105.1%	106.0%	
指標2	現状値	実績値							
	目標値(H29)	単年度の達成度							
	単年度目標値								
指標3	現状値	実績値							
	目標値(H29)	単年度の達成度							
	単年度目標値								

② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	42.1%	33.8%	38.5%	34.9%	35.9%	
目標値(H29)		前年度からの増減	53.2%	-8.3pt	4.7pt	-3.6pt	1.0pt		
③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B

【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29
	中核市平均	現状値	実績値					
中核市での本市の順位								
中核市平均		実績値						
中核市での本市の順位								
中核市平均		実績値						
中核市での本市の順位								

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上(±5pt超) [33点]	B: 前年度同水準(±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下(±5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上(主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり(主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ(主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	・地球温暖化の進行や生物多様性の喪失危機にあるなど、樹林地や農地等の「緑」に関連した問題が深刻化している。 ・本市の市街地の「緑」は宅地開発などにより減少傾向が続いており、緑豊かな都市環境を維持・形成していくためには、行政による取組に加え、市民や企業等の自主的な活動を促すなどの包括的な取組が必要となっている。	市民満足度	・市が推進する中心市街地緑化事業や、緑化ボランティア、緑地保全団体等による各種自主活動の継続により、市民が緑にふれる機会は徐々に増加しており、その効果が市民満足度の前年度比微増に表れたと分析するが、依然として政策について「わからない」とする市民の割合が高い状況にある。	総合評価	83点 概ね順調
施策指標	・市主催の養成講座を修了した緑化ボランティアによる地域や公園などにおいて展開されている様々な緑化活動や普及啓発事業、広報紙、ホームページの活用や、市内各所で開催される各種イベント時でのPRなどにより、単年度目標を上回る登録者数を確保することができた。				

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H28事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	里山・樹林地の保全	○★	・都市緑地の保全・活用	・都市緑地:約59.0ha 戸祭山緑地:約26.0ha 鶴田沼緑地:約30.9ha 上戸祭緑地:約2.1ha	・公有地化した緑地の適切な維持管理	計画どおり	40,143	H元		都市緑地として公有地化したまとまりのある緑を良好な樹林地として保全していくため、目指していく植生等の状態や管理上の計画について、市民ボランティアと相互理解しながら、適切な管理を行っていく。
2	里山・樹林地の整備	○★	・都市緑地の保全・活用	・都市緑地:約56.9ha 戸祭山緑地:約26.0ha 鶴田沼緑地:約30.9ha	・緑地整備 ・先行取得用地の買戻し ・用地新規取得	計画どおり	454,465	H元		都市緑地としてまとまりのある緑を市民が身近に親しめる緑として活用していくよう、計画的な用地取得を進めていくとともに、園路などの整備を円滑に行っていく。
3	長岡公園の整備事業	○★	・都市緑地の保全・活用	・長岡最終処分場の植栽整備箇所:約1ha ・「もったいないの森 長岡」植樹祭の参加者	・市民参加によるイベント形式の植樹祭実施	計画どおり	2,352	H20	先駆的	長岡最終処分場(第2埋立地)を自然豊かな森として回復し、緑化に対する市民意識の高揚を図っていくため、「もったいないの森 長岡」植樹祭を開催していくとともに、隣接する樹林地と一体的に活用できるよう整備に向けた検討を進めていく。
4	とちぎの元気な森づくり市町村交付事業		・都市緑地の保全・活用 ・民有地の緑地保全	・市内で森づくり等を目的に活動する法人(H28:(公財)グリーントラストうつのみや)	・市民を対象に実施する、緑地保全・緑化普及啓発を目的とした森づくり活動事業に対する助成	計画どおり	500	H20		豊かな樹林地とふれあう機会を増進していくため、栃木県が所管する「元気な森づくり推進市町村交付金事業」を活用し、樹林地に係るポスターやタオルを作成するなど、継続した市民への啓発活動を行っていく。
5	都市緑化の推進	★	・民有地の緑化推進 ・公共施設の緑化推進	・市民, 事業者 ・民有地, 公有地, 公共公益施設	・市民・事業者・行政の協働による花いっぱいのみちづくりの促進	計画どおり	4,585	S60		緑化に対する市民意識の高揚と市民主体による効果的な緑化を促進していくため、地域や公共施設への花苗の提供や、出生時及び住宅新築時における記念樹の配布等を行うとともに、市民ニーズを把握し、事業内容の見直しも含めた検討を進めて行く。
6	中心市街地緑化事業	○★	・中心市街地の緑化推進	・市民, 事業者 ・民有地, 公有地, 公共公益施設	・中心市街地における、市民・事業者・行政の協働による花いっぱいのみちづくりの促進	計画どおり	999	H18		中心市街地の魅力づくりや賑わいづくりとなる緑化活動を推進していくため、ストリート緑化事業やJR宇都宮駅周辺の緑化などを参画する市民と連携しながら取り組んでいくことに加え、新たに中心市街地の学校や自治会等へ講師を派遣する移動緑化講習会を行うなど、より魅力的な緑化活動となるよう内容の拡充を図っていく。
7	宇都宮市花と緑のみちづくり推進協議会補助金		・民有地の緑化推進 ・花と緑に係る人づくりの推進	・宇都宮市花と緑のみちづくり推進協議会	・花と緑の普及啓発を目的とする団体への活動費補助	計画どおり	4,000	H13		様々な機会を捉えPR活動を行うことにより会員数も着実に増加しており、また、緑の大切さや必要性について学ぶ「もりのめぐみツアー」や中心市街地に新たな緑空間を創出する「まちなか花壇」など協議会が自ら企画する各種緑化事業を積極的に取り組んでいることから、引き続き補助金を交付するとともに、会員確保のための普及啓発活動を支援し、多くの市民が気軽に緑化活動に参画できるよう取り組んでいく。
8	宇都宮市花と緑のフェスティバルうつのみや交付金		・民有地の緑化推進 ・花と緑に係る人づくりの推進	・宇都宮市花と緑のみちづくり推進協議会	・「花と緑のフェスティバル」を実施するための交付金を交付	計画どおり	2,186	H14		多くの市民に花と緑の大切さについて理解してもらうため、宇都宮市花と緑のみちづくり推進協議会主催の「花と緑のフェスティバル」開催に係る交付金を交付するとともに、企画・展示方法等の見直しやまちづくりに関する他の団体との連携を促進していくなど、より多くの来場者が訪れ、花と緑に親しみ、啓発される催しとなるよう必要な支援を行っていく。
9	公益財団法人グリーントラストうつのみや運動促進費補助金		・都市緑地の保全・活用 ・民有地の緑地保全	・公益財団法人グリーントラストうつのみや	・緑豊かなまちづくりを目的とする公益財団への活動費補助	計画どおり	5,421	H3		多くの市民が自然の大切さを理解し、緑を保全する活動に参画するよう、良好な樹林地の保全活動等を行う公益財団法人グリーントラストうつのみやに補助金を交付するとともに、戸祭山緑地や鶴田沼緑地の保全や活用について、密接に連携しながら取り組んでいく。
10	緑の相談所の運営		・緑の情報拠点の活用促進	・市民, 事業者	・緑化の普及啓発のための緑化相談、緑化講習会、各種展示会の実施	計画どおり	3,057	S56		緑の相談所における業務は平成28年度をもって終了したが、今後とも緑化についての情報発信や緑化に関わる人材を育成していくため、緑化講習会や緑化ボランティア養成講座を他の既存施設で継続して行うほか、人材の確保と地域の自主的な活動を促進していくため、学校や自治会等へ講師を派遣する移動緑化講習会を新たに開始するなど、更なる緑化の普及啓発に取り組んでいく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆里山・樹林地の保全や都市緑化の推進については、ネットワーク型コンパクトシティが進められている中、これまで実施してきた取組を精査し、事業の見直しを含めた優先化や重点化により、市民によりわかりやすい施策となるよう努める必要がある。</p> <p>◆緑の保全や育成においては、緑を支え、つなぐための「人づくり」を推進していく必要があるが、活動主体については、現在、若年層が少なく、高齢者層が多く、世代間に偏りがあることから、将来的に緑のみちづくりの担い手となる人材を確保していく必要がある。また、市民主体による緑地保全や緑化活動が今後とも促進されていくよう、活動団体と企業の連携強化についても積極的に働きかけていく必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆都市緑地など、まとまりのある緑については、計画的な保全・整備を進めていくとともに、都市緑化の推進については、中心市街地の緑化事業など、効果的な事業について内容の拡充を図っていく。また、より多くの市民や企業が緑地保全や緑化活動に参画し、緑への意識を高めていけるような施策・事業に取り組むことにより、花と緑に係る人づくりを推進していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆「里山・樹林地の保全」 公有地化したまとまりのある緑や保全契約した樹林地を公益財団法人グリーントラストうつのみやと連携しながら、適切に管理していく。また、市街化区域内に残された樹林地の現況調査を基に、市民緑地制度などのより効果的な既存樹林地の保全手法について検討を進めていく。 ◆「里山・樹林地の整備」 緑地整備を行い供用開始した戸祭山緑地(斎場跡地)については、市民協働による緑地の維持・保全活動を行いながら、市民が自然に触れ合える場を提供していく。鶴田沼緑地は、第1期整備の着実な推進に向けて(事業期間、平成33年度まで)、計画的な用地取得と緑地整備を進めていく。 ◆「長岡公園の整備事業」 「もったいないの森 長岡」植樹祭を契機に、緑化に対する市民意識が高まってきていることから、市民ボランティア等との協働による保全活用に向けた今後の進め方を検討していく。 ◆「中心市街地緑化事業」 現在実施しているまちなかハンギングバスケット大作戦や、民有地にある既存植栽帯を活用した花壇の設置に加え、新規事業として学校や自治会等での移動緑化講習会を実施することにより、緑化活動を新たに担っていく人材を育成していく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>